



国際環境文学者会議 環境と文学 いま、何を書くか

京王プラザホテル(新宿)

JR新宿駅西口下車徒歩5分／京王線・小田急線・地下鉄(東京メトロ丸の内線・都営新宿線)新宿駅下車徒歩5分／
都営大江戸線都庁前駅B1出口すぐ

入場無料
開場30分前

プログラム

9月29日(水) | 15:30-17:30 | 京王プラザホテル(新宿) 南館5F「エミネンスホール」

Ⅰ 基調講演 | バンダナ・シバ(インドの科学者、環境活動家) オメロ・アリディス(国際ペン名誉会長・メキシコの詩人・環境活動家)

9月30日(木) | 10:00-12:00 | 京王プラザホテル(新宿) 本館4F「花D」

Ⅱ 海外ペン代表による意見発表会 | 各国ペンセンター代表(約10センターが参加予定)

9月30日(木) | 13:30-17:30 | 京王プラザホテル(新宿) 南館5F「エミネンスホール」

Ⅲ 記念講演・ラウンドテーブル「言語の多様性と平和」全体会

第一部 13:30-15:00

● 記念講演 | ジョン・ラルストン・サウル(作家、国際ペン会長) 浅田次郎(作家、日本ペンクラブ専務理事)

第二部 15:30-17:30

● ラウンド・テーブル「言語の多様性と平和—スペインの経験から」(予定) ● 意見交換と集約

● 締めくくりの言葉 | オメロ・アリディス ● 共同議長 | オメロ・アリディス、堀武昭(国際ペン理事、日本ペンクラブ常務理事)

出演

バンダナ・シバ Vandana Shiva

物理学者、環境科学者、平和運動家。環境問題、女性解放問題、ジェンダー、グローバル化に関し、メッセージを発信し続ける女性思想家。1993年、ライト・ライブラリー賞受賞。「科学・技術・環境科学のための研究基金」理事。



浅田次郎 Jiro Asada

1951年、東京生まれ。「地下鉄に乗って」で第16回吉川英治文学新人賞、「鉄道員」で第117回直木賞、「壬生義士伝」で第13回柴田錬三郎賞を、「お腹召ませ」で第1回中央公論文芸賞・第10回司馬遼太郎賞を、「中原の虹」で第42回吉川英治文学賞を受賞。壮大なスケールで描く「蒼穹の昴」、近著に「終わらざる夏」がある。



©中山剛明

オメロ・アリディス Homero Aridjis

ラテンアメリカ有数の作家。メキシコ人。環境活動家として先駆的な業績を残し、また国際ペンクラブ会長として2期の任期を全うする。40冊にのぼる詩や散文の多くが他言語に翻訳されている。最近までユネスコ大使を務めた。



堀武昭 Takeaki Hori

国際問題評論家、経済人類学者。オーストラリア外務省アドバイザー、米日財団副理事長、東京成徳大学教授、プラハにあるフォーラム2000財団の理事、カレル大学客員教授などを務める。経済学では推し量れない人間社会と経済の根本的関わり方の研究が専門。2002年、「国際ペン」の理事に就任。2007年再選。



ジョン・ラルストン・サウル John Ralston Saul

随筆家および小説家。1980年代から国際ペンに密接に関わり、2009年10月に国際ペン会長に選ばれた。著書は数多くの国における政治的・経済的思想に徐々に大きな影響を与えてきた。著作は30カ国において22言語に翻訳されている。

